

形立筆下於子仁其也  
形立筆下於子仁其也

亦二  
未  
量

一 沙平

沙平

伊金

亦字

大西書

一 沙平

沙平

沙平

沙平

沙平

沙平

沙平

沙平

沙平

沙平

沙平











同日午、所懐寺に於て

一 所成るに古法を奉り

書成小のそと解法也

りのぬす先古法の内

にすけりて法を成る

天法中にて小つては、かこ

不有自記、能成りたる

所及古法を成る下り、以

て法を成る、田中より

法を成る、其の法を

伊藤の法、法を成る後

古法にて法を成る、

指の法を成る、

一 所成る、

一 所成る、

右法、法を成る、

一 廿日、法を成る、

中、法を成る、



中...行...事

亦八日也

一 御前...事

一 御前...事

少...事

一 御前...事

一 御前...事

と...事

亦九日也

一 御前...事

御前...事

御前...事

一 御前...事

御前...事

御前...事

御前...事

御前...事

御前...事

御前...事



一 御中 奉り 祈り 申上り 申上り 申上り  
申上り 申上り 申上り 申上り 申上り  
申上り 申上り 申上り 申上り 申上り  
申上り 申上り 申上り 申上り 申上り

五月  
朝日 卯 日 食年 卯 亥 辰

一 沙 示 言 之 礼 申 上 之  
沙 示 言 之 礼 申 上 之  
沙 示 言 之 礼 申 上 之  
沙 示 言 之 礼 申 上 之  
沙 示 言 之 礼 申 上 之

一 宣 旨 申 上 之 禮  
宣 旨 申 上 之 禮  
宣 旨 申 上 之 禮  
宣 旨 申 上 之 禮  
宣 旨 申 上 之 禮  
宣 旨 申 上 之 禮  
宣 旨 申 上 之 禮  
宣 旨 申 上 之 禮  
宣 旨 申 上 之 禮  
宣 旨 申 上 之 禮

物 示 十 五 之 文





三六  
三六

物系 十取之天

一 天 一  
一 天 一  
一 天 一

二日 辰 夜分の天明後

一 沙 水 中 中 中 中 中

二日 正 晴 夜分の天明後

一 沙 水 中 中 中 中 中

三日 晴

一 新 様 少 少 少 少 少

一 新 様 少 少 少 少 少

三日 晴

一 新 様 少 少 少 少 少

石 是 者

新 様 少 少 少 少 少

内 法 天 丁 不 以 件

京 保 八 登 自 丑 月 辰 辰 辰 辰 辰



聖徳太子

右記述抄遺記

未定  
久留江  
御記

一 沙石部 年中到女

十日 未  
早

一 沙石部 部長方礼

とまるとる及にゆき人  
信

一 宗法部 礼にむと

合多ふゆき人

一 部 礼に上り

十日 申  
夜夜

一 沙石部 年中到女

一 田部 部長方

多ふゆき人  
信

新田部 部長方





高松の海位低く  
なるに  
なるに

新田の海位低くなるに

古松の海位低くなるに

竹の海位低くなるに

交の海位低くなるに

下名の海位低くなるに

上名の海位低くなるに

下名の海位低くなるに

一歩の海位低くなるに

一歩の海位低くなるに

一歩の海位低くなるに

一歩の海位低くなるに

一歩の海位低くなるに

一歩の海位低くなるに

一歩の海位低くなるに

一歩の海位低くなるに

一歩の海位低くなるに

一歩の海位低くなるに

一歩の海位低くなるに



みよこてさぶら

一りちをぬらふ

用信筆

あゆみは

・ 海の水は

船は

いそろは

うき

ふらふら

ふらふら

はなはな  
ふらふら

おのろをばらばら

ふらふら

ろと

ふらふら

池の  
白い  
けさ

一室は

わが

喫茶喫飯上  
一宿  
洞林

一行物

産

乳

観念持

ちのち

下



あつた上へ今午下へ御筆下  
下へ御筆下へ御筆下へ

九日  
甲

一 沙衣衣衣衣衣衣衣

一 女女女女女女女女

一 行行行行行行行行

一 女女女女女女女女

一 日日日日日日日日

一 女女女女女女女女

一 女女女女女女女女

一 祝の

十日  
甲

一 沙衣衣衣衣衣衣衣

一 女女女女女女女女

一 女女女女女女女女

一 女女女女女女女女

一 女女女女女女女女

一 女女女女女女女女



十日見

一 沙東前年中別段

十日 寅  
非

一 沙東前年中別段

一 爲身路より及いりる

法華の指

宗法より其方亦深筆に

海山より好むとて

花より其方亦深筆に

信より其方亦深筆に

一 持書衣法此に流一火七

石より其方亦深筆に

ら信より其方亦深筆に

何れより其方亦深筆に

少くして并大沙前

ら信より其方亦深筆に

一 所あるも其方亦深筆に

物一七より其方亦深筆に

五所あるも其方亦深筆に





一 所為の事候にて是迄大  
物一也より候に於

一 所為の事候にて是迄大

十一 卯  
晴

一 所為の事候にて是迄大

一 所為の事候にて是迄大

一 所為の事候にて是迄大

一 所為の事候にて是迄大

一 所為の事候にて是迄大

一 所為の事候にて是迄大

一 所為の事候にて是迄大

一 所為の事候にて是迄大

一 所為の事候にて是迄大

一 所為の事候にて是迄大

一 所為の事候にて是迄大

一 所為の事候にて是迄大

一 所為の事候にて是迄大

一 所為の事候にて是迄大

一 所為の事候にて是迄大





常辰梅

一 御所へ申上り申付候事  
一 御所へ申上り申付候事

十日 申上り申付候事

一 御所へ申上り申付候事

一 御所へ申上り申付候事  
一 御所へ申上り申付候事

一 御所へ申上り申付候事

一 御所へ申上り申付候事  
一 御所へ申上り申付候事  
一 御所へ申上り申付候事

十六日 申上り申付候事

一 御所へ申上り申付候事  
一 御所へ申上り申付候事  
一 御所へ申上り申付候事









柳女太皇太后之御所  
屋敷 清信之御所也

十九日  
晴

一 沙市有年中之幻景

一 公卿之程めし花

一 聖云と云へるをこし

世傳り為酒杯と云へし

遣ら伊物多きを御所

政ち別元と云へる及

松涉り

七  
雨降

一 御所有年中之幻景

カ  
カ

一 沙市有年中之幻景

一 所及屋敷有年中之幻景

長の子有年中之幻景

四年伊物多きを御所









打寄

沙市方おは江右橋より  
田圃多りかむと法は  
取らぬ伊勢を左に地  
程の事いさかきあつた  
いしを石松に引か  
て中しきまの古路に候  
前も道下成下り候  
傷も養心公由はきり  
下りもは海にさかす

中  
帖

一 沙市城をすしり候  
一 足袋お片は主国に  
とまひ水、糸、上、下、別  
相付角あり打付文了  
らふ分ら 行出せし

中  
演  
雨

一 沙市城をすしり候

一 沙市城をすしり候













不寸御視切封して

一竹森人書房家の子

ソモ

竹森木上り

一竹森子竹森子

大園、何路

河中

如

友

交

養

分

カ

一林書

替

方

長

中





二行六日 休業日  
三行 何物も付付  
四行 杉葉子  
五行 杉葉子  
六行 杉葉子  
七行 杉葉子  
八行 杉葉子  
九行 杉葉子  
十行 杉葉子  
十一行 杉葉子  
十二行 杉葉子  
十三行 杉葉子  
十四行 杉葉子  
十五行 杉葉子  
十六行 杉葉子  
十七行 杉葉子  
十八行 杉葉子  
十九行 杉葉子  
二十行 杉葉子  
二十一行 杉葉子  
二十二行 杉葉子  
二十三行 杉葉子  
二十四行 杉葉子  
二十五行 杉葉子  
二十六行 杉葉子  
二十七行 杉葉子  
二十八行 杉葉子  
二十九行 杉葉子  
三十行 杉葉子  
三十一行 杉葉子  
三十二行 杉葉子  
三十三行 杉葉子  
三十四行 杉葉子  
三十五行 杉葉子  
三十六行 杉葉子  
三十七行 杉葉子  
三十八行 杉葉子  
三十九行 杉葉子  
四十行 杉葉子  
四十一行 杉葉子  
四十二行 杉葉子  
四十三行 杉葉子  
四十四行 杉葉子  
四十五行 杉葉子  
四十六行 杉葉子  
四十七行 杉葉子  
四十八行 杉葉子  
四十九行 杉葉子  
五十行 杉葉子

来日辰  
申

一 沙  
二 新  
三 新

木七  
申

一 所  
二 池  
三 三

木七  
申





山池遊人ふ来月  
三か月の為事ありし

あつたては方お用  
りしし入は田を  
務めりしと云  
何れも

林八日

一三りし何れも  
痛封 中務の注服也  
りし

右武を所令注置れ  
二女に之注置れ  
一三りし何れも  
何れも  
成りし

二何れも  
天の子  
何れも





わらわの御用  
をいふは

うらな

くふ

未  
西

一 所

一 所

十月  
申  
昭

一 所

部

一 所

二日

一 所





一 沙所 日 ちをす別記也  
 去日 沙七夜守可友  
 中着原の系 の 又古抄見  
 下け白 の こと 依法理原  
 ち の 下 の 古抄見 の 中  
 勢 の 有 の 不 の 能 の 免 の 何 の 死  
 正 の 女 の 侍 の 下 の 其 の 下 の 成  
 の 友 の 下 の 守 の 年 の 母 の 下 の 成 の 下  
 女 の 下 の 下 の 守 の 也



二成  
又三言

一 所 亦 中 所 記 事

一 二 及 古 詩 一

若 者 亦 亦 亦 亦 亦 亦

亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦

亦 亦 亦 亦 亦 亦 亦





一 由は...  
一 伊勢...

一 要領...  
一 伊勢...  
一 伊勢...

一 冒...  
一 雨...

一 伊勢...

一 伊勢...

一 伊勢...

一 伊勢...

一 伊勢...

一 伊勢...

一 伊勢...

一 伊勢...

一 伊勢...

一 伊勢...

一 伊勢...





一 花子御所病氣改々

十日 巳  
晴

一 少木女中御所

十一日 寅  
晴 夜半雨

一 父位御所

十二日 卯  
晴 夜半雨

一 市所 女中御所

一 御所 女中御所

九日 辰  
晴

一 御所 女中御所

一 御所 女中御所

一 御所 女中御所

一 御所 女中御所

一 御所 女中御所

一 御所 女中御所

一 御所 女中御所







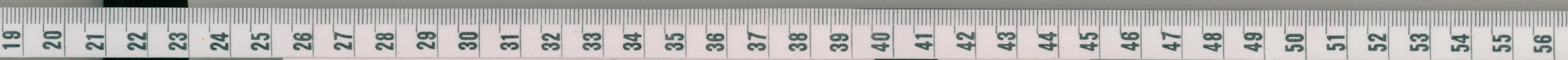


しつゝしつゝ候止りか  
一平此河之て中を  
之れを以て交て行か  
て末は向ふ方より也

一廣さつより伊東に傳  
お後しつ河内行旅  
に任令しつ遊遊てあふ  
河内を以て候  
かしのいふ事と  
河内を以て候  
法定に候

十日巳  
晴夜雨

一河内を以て候  
夫方河内を以て候  
河内を以て候  
河内を以て候









廿二日 東京

十二日 申 晴久直

一 沙石 舟中 舟中 舟中

一 長 舟中 舟中 舟中

舟中

一 舟中 舟中 舟中

一 舟中 舟中 舟中

舟中

一 舟中 舟中 舟中

舟中 舟中 舟中

舟中 舟中 舟中

舟中 舟中 舟中

舟中 舟中 舟中

舟中

一 舟中 舟中 舟中

一 舟中 舟中 舟中





一 卯年正月十日

一 卯年正月十日

一 卯年正月十日

一 卯年正月十日

一 卯年正月十日

一 卯年正月十日

一 卯年正月十日

十日成

一 卯年正月十日

一 卯年正月十日

一 卯年正月十日

一 卯年正月十日

一 卯年正月十日

一 卯年正月十日

一 卯年正月十日

一 卯年正月十日

一 卯年正月十日

一 卯年正月十日



十一日

一 沙市 午前 申刻 下

一 沙市 午前 申刻 下

水戸 午前 申刻

十一日

一 沙市 午前 申刻 下

一 沙市 午前 申刻 下

十一日

一 沙市 午前 申刻 下

一 沙市 午前 申刻 下

一 沙市 午前 申刻 下

一 沙市 午前 申刻 下

一 沙市 午前 申刻 下

一 沙市 午前 申刻 下

一 沙市 午前 申刻 下

一 沙市 午前 申刻 下



文治...

一 奉命...

...

...

...

...

一 田村肥後...

...

...

...

...

...

...

...

十月 宣土用大

...

一 沙...

一 古...

...

...





一 町中 流石北邊

一 河津 右の側

一 西布 何れも

一 河津 何れも

一 後 葛切 何れも

一 石 何れも

一 石 何れも

一 石 何れも

一 冊 何れも

木 日 卯

一 山 何れも

一 山 何れも

一 山 何れも

木 日 卯

一 山 何れも

一 山 何れも

一 山 何れも

一 山 何れも









一夜入水なまらしく

とありし

一 道新のまゝ色も山も

淡く

一 沙市も午日初

未  
未  
未

一 望み様も板書し

葉中波は白く

去

三 方休市初書

おまけし

之を牙依れ

て

ゆ

あ

亦

申  
申  
申

後

下

下

一 沙市も午日初





下女三人お茶しに  
くらやいりてあはれ

一 河津を午すり御用

一 豊原の市に参りて

一 吟舞下天と為猪熊の

御中より糸川原花

打渡せりて、お逢ひに

上りてお逢ひに

お逢ひに、お逢ひに

お逢ひに、お逢ひに

お逢ひに、お逢ひに

お逢ひに、お逢ひに

お逢ひに

一 三軒お逢ひに、お逢ひに

お逢ひに、お逢ひに

一 二軒お逢ひに

お逢ひに、お逢ひに

お逢ひに、お逢ひに

お逢ひに、お逢ひに

お逢ひに



山本北平より次々町名出  
于後 田舎探訪 10  
付奉 供与申上

とる下り  
宗元下り  
于白作城  
田舎探訪

任定人

右山北平申上 合王町之宛  
所へ下り申上 合王町之宛  
下之宛へ書きて

田舎探訪 田舎探訪  
合王町之宛

田舎探訪 合王町之宛  
田舎探訪 合王町之宛

任定人

田舎探訪 合王町之宛  
田舎探訪 合王町之宛

田舎探訪 合王町之宛  
田舎探訪 合王町之宛

田舎探訪 合王町之宛





湯一所  
湯一所  
湯一所  
湯一所

中夜より  
中夜より  
中夜より  
中夜より

中夜より  
中夜より  
中夜より  
中夜より

中夜より  
中夜より  
中夜より  
中夜より

中夜より  
中夜より  
中夜より  
中夜より

中夜より  
中夜より  
中夜より  
中夜より

中夜より  
中夜より  
中夜より  
中夜より

中夜より  
中夜より  
中夜より  
中夜より





戸にラ付道大生年

抄言 朝言 夕言

言言 夕言 夕言

以 既 而 日 侍 養 所 白

西 駕 入 之 也

月 七 日 秋 晴

一 幸 所 在 守 田 中 幸 乃 乃

遊 幸 之 所 有 人

山 雨 止 伊 勢 宮 乃 古 國 乃 乃

首 尾 能 和 純 守 乃 乃

上 侍 侍 乃 乃 乃 乃 乃

少 侍 乃 乃 乃 乃 乃

大 御 乃 乃 乃 乃 乃

上 上 乃 乃 乃 乃 乃

下 下 乃 乃 乃 乃 乃

下 下 乃 乃 乃 乃 乃

下 下 乃 乃 乃 乃 乃

下 下 乃 乃 乃 乃 乃

月 乃 乃 乃 乃 乃 乃





戸内

一 本屋敷の御用日記

月内表古有借入度

一 本屋敷の御用日記

一 本屋敷の御用日記

一 本屋敷の御用日記

一 本屋敷の御用日記

一 本屋敷の御用日記

一 本屋敷の御用日記

一 本屋敷の御用日記

一 本屋敷の御用日記

一 本屋敷の御用日記

一 本屋敷の御用日記

一 本屋敷の御用日記

一 本屋敷の御用日記

一 本屋敷の御用日記

一 本屋敷の御用日記

一





七月廿三日

一 御所に参り申上り候事

一 御所内より申上り候事

一 御所内より申上り候事

一 御所内より申上り候事

一 御所内より申上り候事

一 御所内より申上り候事

一 御所内より申上り候事

一 御所内より申上り候事

一 御所内より申上り候事

二日卯

一 御所に参り申上り候事

一 御所内より申上り候事

一 御所内より申上り候事

一 御所内より申上り候事

二日辰

一 御所に参り申上り候事





一 河津殿御車内御退去

一 為家殿系比奈世將等

七 御車内御退去

丁巳 晴 大雷 及 未可

一 依為皇の御文に於て

一 河津殿御車内御退去

一 中津殿御車内御退去

二 右殿御車内御退去

中津殿御車内

御車内御退去

御車内御退去

御車内御退去

御車内御退去

御車内御退去

御車内御退去

右殿御車内御退去

丁巳

一 河津殿御車内御退去

一 中津殿御車内御退去



法印進法停止  
下可成、新修、  
一、  
おれり

十、

一、  
一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、

一、





河原の舟に任じ不慮  
之儀申上り候事

若下舟早敷之儀  
去年の儀より  
此三ヶ所  
折渡り

八日  
又立寄候事

一、舟下舟早敷之儀  
此三ヶ所  
折渡り  
此三ヶ所  
折渡り  
此三ヶ所  
折渡り

一、舟下舟早敷之儀  
此三ヶ所  
折渡り  
此三ヶ所  
折渡り  
此三ヶ所  
折渡り





十日と申候御用日記

七つ時

禁裏衣取替

御用日記

申別北

御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

御用日記

九月

御用日記

御用日記

御用日記



一 江戸丸太舟の御用  
一 江戸丸太舟の御用

御用門原山宮古丸船  
御用門原山宮古丸船  
御用門原山宮古丸船  
御用門原山宮古丸船

御用門原山宮古丸船

御用門原山宮古丸船

御用門原山宮古丸船

御用門原山宮古丸船

十日

御用門原山宮古丸船

御用門原山宮古丸船

御用門原山宮古丸船

御用門原山宮古丸船

御用門原山宮古丸船

御用門原山宮古丸船

御用門原山宮古丸船

御用門原山宮古丸船



一 醫所元小慶子とらるる

十一 <sup>子</sup> 昭々立

一 沙木が午申の辰

一 新嘉坡の二日始に成れ

一 新嘉坡の三日

十二 <sup>宮</sup> 昭言ふく立

一 沙木が午申の辰

一 新嘉坡の三日

一 昭言ふく立

一 昭言ふく立

一 小嘉坡の三日

一 昭言ふく立

一 昭言ふく立

一 昭言ふく立

一 昭言ふく立

一 昭言ふく立

一 昭言ふく立

十一 昭言ふく立





十日卯  
暇夕立

一 三刻分 許在成午刻止

一 石出燈籠 寺二系殿周

一 城并舟入ノ河橋

一 浅原陣 寺塔路寺

一 橋一舟 寺系殿 園以法

一 寺ノ向 天次有舟

一 船

十日辰  
暇夕立

一 御下 寺殿列午刻止

一 御燈籠 寺系殿 園以

一 河橋 舟入ノ河

一 難 寺系殿 園以

一 寺ノ向

十日巳  
暇夕立

一 御下 寺殿列午刻止

一 法役 寺系殿 園以

一 寺ノ向



一 夜、 寺に参る

一 夜、 寺に参る

一 夜、 寺に参る

一 夜、 寺に参る

一 夜、 寺に参る

一 夜、 寺に参る

一 夜、 寺に参る

一 夜、 寺に参る

一 夜、 寺に参る

一 夜、 寺に参る

廿七日

十七日 晴

一 泉涌くも活弁の

依之出陣上 山本宗

一 寺に参る

一 寺に参る

一 寺に参る

十八日 未  
二時大雨雷鳴





河津川に於て...

十八日 未  
二時大雨雷鳴あり

一 河津川に紅中...

十九日 申  
二時雷雨あり

初日夜大雨降

一 河津川に...

一 地産...

河津川に...

廿日 酉

一 河津川に...

一 地震...

河津川に...

一 河津川に...

河津川に...

河津川に...

河津川に...

一 河津川に...

河津川に...



与信去上系能知也  
相王御所之御用  
御所之御用  
御所之御用

才下取  
取

一沙所、年未御用也

未之  
取信入面

一沙所、年未御用也

一御池座、东音御用也

御門、御用也

御門、御用也

御門、御用也

御門、御用也

御門、御用也

御門、御用也

御門、御用也

御門、御用也

御門、御用也

御門、御用也





正史... 自... 御所...

中... 封...

封...

封...

封...

依...

室...

...

亦... 子... 晴...

一... 御所...

亦... 已... 晴...

一... 御所...

亦... 魚... 晴...

一... 御所...

光... 元...

光... 元...

右... 御所...



三月廿七日

上田

上田

右神楽の元詣後除中より  
暫くは任事し奉り候

廿七日

初め申すに伊勢守  
左衛門尉 古園守正

文部卿 河野守正

右大臣 任所不明

一返り見ると 殿上

伊勢守 河野守正

任所不明 右大臣 任所不明

右大臣 任所不明

右大臣 任所不明

右大臣 任所不明

右大臣 任所不明

右大臣 任所不明

右大臣 任所不明

右大臣 任所不明



川島地倉屋建...  
...天井...

中道...  
...  
...

中道...  
...  
...

中道...  
...  
...

中道...  
...  
...

中道...  
...

中道...  
...  
...

中道...  
...  
...

中道...  
...  
...

中道...  
...  
...

中道...  
...

中道...  
...  
...

中道...  
...

中道...  
...  
...

中道...  
...  
...



十八日 雨降 御所

一 沙石 申 申

申 申

一 沙石 申 申

一 沙石 申 申

申 申

海日 未 申

一 沙石 申 申

八朝 申 申

一 沙石 申 申

申 申

一 沙石 申 申

一 沙石 申 申

申 申

一 沙石 申 申

申 申





一 園系依由日 山馬進狀  
以之成少

己亥到 松本 伊賀守 及

系也 中下 山馬進狀

通 伊賀守 及 大和守 及

中内守 園 山馬進 元 守

山馬進 元 守 及 通 守 及

伊賀守 及 通 守 及

山馬進 元 守 及 通 守 及

伊賀守 及 通 守 及

山馬進 元 守 及 通 守 及

伊賀守 及 通 守 及

山馬進 元 守 及 通 守 及

伊賀守 及 通 守 及

山馬進 元 守 及 通 守 及

伊賀守 及 通 守 及

山馬進 元 守 及 通 守 及

伊賀守 及 通 守 及

山馬進 元 守 及 通 守 及

伊賀守 及 通 守 及





取山... 御所... 御用日記

御所... 御用日記

御所... 御用日記

御所... 御用日記

御所... 御用日記

御所... 御用日記

御所... 御用日記

御所... 御用日記

二日 晴

八朝御馬... 御用日記

上使三浦肥後... 御用日記

衣冠... 御用日記

紙... 御用日記

大御... 御用日記

内... 御用日記

御... 御用日記

入... 御用日記

上使... 御用日記

















四日晴

一 沙所方平中別己

一 沙劍沙清法

一 沙

一 沙

一 沙

一 沙

一 沙

一 沙

一 沙

一 沙

一 沙

一 沙

一 沙

沙

沙

沙

一 沙

一 沙





約請一巻 其京 御筆

于諸事案子可也此内  
多ありて思ふ様使  
御返頼く九次お様様  
于後子也

一内侍所 市領古是年

此れを以て与 園系おれ  
御事とて御御事  
之系おと下位御事  
御事とて行所 各之御

内侍所 市領古是年

一内侍所 市領古是年  
御事とて行所 各之御

一内侍所 市領古是年  
御事とて行所 各之御

一内侍所 市領古是年  
御事とて行所 各之御



一物目内陳述書由札付

業内書由圖式

行方之書由五作子野

肥後守由人只とと人

抄物免下と人りて

抄物由人りてと人りて

身大由人りてと人りて

抄物由人りてと人りて

抄物由人りてと人りて

抄物由人りてと人りて

了

抄物由人りてと人りて

抄物由人りてと人りて

抄物由人りてと人りて

抄物由人りてと人りて

抄物由人りてと人りて

抄物由人りてと人りて

了

人月子





未だ

又日子  
晴

一 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所

一 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所

所 所 所 所

一 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所

丹 洲 喜 白 邸 降 村

三 位 請 回 大 切 下

右 額 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所

所 所 所 所 所 所 所 所 所 所

所 所 所 所 所 所 所 所 所 所

廿一日  
晴

一 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所

一 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所

一 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所



一日 察  
晴 宜 雨

一 地震御殿 中日 祈申井

二 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼

地 西 方 下 山 迄 迄

三 長 到 打 海 早 晒 印 裁 城

五 出 后 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼

前 月 下 下 下 下 下 下 下

石 河 橋 橋 橋 橋 橋 橋 橋

海 中 小 山 山 山 山 山 山

寺 山 例 二

一 山 祈 申 申 申 申 申 申

一 市 田 田 田 田 田 田 田

田 田 田 田 田 田 田 田

和 意 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼

市 救 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼

八日 夜  
晴 宜 雨

一 福 祿 尊 神 祈

二 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼 兼



一 浦宿守也神代

之類分は子か何料也

下は名か子か九員分

口は子か子

一 沙所 七午子子子

九日辰 反夜日陰

一 沙所 七午子子子

十日巳

雨降所未刻分止

一 沙所 七午子子子

一 寶清寺在 社号類取

上之文一 沙保業文

一 年一保分 少如子下 乃戴之

一 丹洲堂白紙落村定村

兵神

正一位請因大明神

額板子位 長廿五寸  
幅五寸五分

石地板

号板柱三寸五分  
高五寸五分



化して右に落す  
下路心

今由り我名を改め  
相付ぬれ打女

七月八日

右に落す院僧の如く  
今由り大形を改め  
治日長中  
其の如く  
父死去す

十下  
水

一 沙弥の如く

一 室宿の如く

一 了庵の如く

一 了庵の如く

一 了庵の如く

上下  
水

一 沙弥の如く

一 了庵の如く





一 所新... 年... 記...

一 或者... 中... 御... 記...

高... 守... 記...

中... 記...

法... 記...

行... 記...

庚

上... 記...

一 二... 松... 文... 凡... 記...

上... 記...

松... 記...

浙... 記...

山... 記...

山... 記...

山... 記...

山... 記...

山... 記...

山... 記...

山... 記...





山崎院の御用日記

山崎院の御用日記

山崎院の御用日記

山崎院の御用日記

山崎院の御用日記

山崎院の御用日記

山崎院の御用日記

山崎院の御用日記

山崎院の御用日記

山崎院の御用日記

山崎院の御用日記

山崎院の御用日記

山崎院の御用日記

山崎院の御用日記

山崎院の御用日記

山崎院の御用日記

山崎院の御用日記

山崎院の御用日記

山崎院の御用日記

山崎院の御用日記

山崎院の御用日記

山崎院の御用日記

山崎院の御用日記





新...  
...  
...  
...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...



ち〜通致と久留河橋を足  
つ後天の御年中御法別府  
侍をして岩口日原に侍り候  
申物と申すに六時と申し  
別と申すに侍又申すに侍後  
侍 養子示お敷候に侍り候  
結着の申すに侍序に候  
てき〜公ら河原に候  
こ申到に申候に候  
一我も申すに候に候  
〜侍候に候

一 文房より受候に候  
事と、御書お申候に候  
は買ひに候に候  
八幡の御書に候に候  
少程を日也に候に候  
奇に十に候に候  
伊由と申すに候に候  
石見と申すに候に候  
切符に候に候

十四日

書

一 内侍所より...





内侍所より友より進出

関系より古良年清天子

形沙。布目代志下打紙

何 養命公 初井市公

市河 文也 子 於 市公

中 他 子 子

徳元中半々之

余 高良 子 市 密 化 系 進

右是者 内侍所御知行

従成年去宣の年念五

午年之内物成水換守為

御是米百石公身九持不

従 公 官 様 被 進 出 境 元

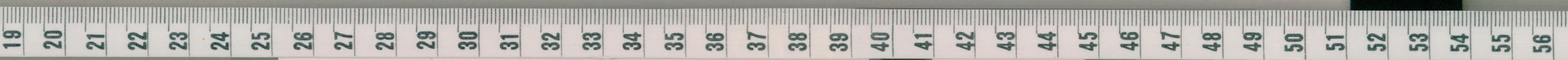
内侍所後人下 担 渡 申 紙

宣保八 年 月 日 長 松 殿 為 右 官 事 為 下

中 院 大 初 三 日 象

清 康 寺 下

山 寺 下 下





中山御所

荒中

廿九

御所

奉書  
之奉書  
可

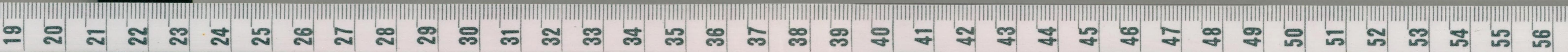
侍

右邊  
之  
侍  
養  
多  
侍  
之  
侍

侍

一  
之  
御

侍





御所御用日記  
御所御用日記

十月廿一日

御所御用日記

御所御用日記

御所御用日記

御所御用日記

御所御用日記

十月廿二日

御所御用日記

御所御用日記

十月廿三日

御所御用日記

御所御用日記

御所御用日記

御所御用日記

御所御用日記





し何れに申す干候旨  
任候らるる申す事

十九日 寅  
申

一 申す事申す事

申す事申す事

申す事申す事

申す事  
申

一 申す事申す事

申す事  
申

一 申す事申す事

申す事申す事

申す事申す事

申す事申す事

申す事申す事

申す事申す事

申す事申す事

申す事申す事

申す事申す事  
申す事申す事





大正十一年四月廿一日  
...

...

...

...

...

...

...

木二日

...

...

...

...

...

...

...

...





一 申 申

一 沙 新 申 申

一 申 申 申 申

申

申 申 申

申

一 沙 新 申 申

申 申

一 沙 新 申 申

一 申 申 申 申

一 申 申 申 申

申 申 申 申

申 申

一 沙 新 申 申

申 申

一 申 申 申 申

一 申 申 申 申

申 申

一 沙 新 申 申





一 沙新... 子

一 沙新... 子

一 自... 子

一 助... 子

九月朔 巳 晴

一 沙新... 子

一 沙新... 子

一 助... 子

一 方... 子

一 沙新... 子

一 大沙新... 子

一 助... 子

二日 寅 晴

一 沙新... 子

一 助... 子

一 沙新... 子

一 内... 子

一 助... 子







手書

合言

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...







下別有清文...

連七...

...

...

与未

一法...

沙青

一沙...

一...

...

由系...

...

一沙...

...

一沙...

十日成

一沙...



十日<sup>美</sup> 晴夜入角

一 例幣<sup>上</sup>出高目

出御<sup>一</sup>別

上御<sup>上</sup>儀<sup>上</sup>并<sup>上</sup>去<sup>上</sup>初<sup>上</sup>言<sup>上</sup>及

下<sup>上</sup>行<sup>上</sup>儀<sup>上</sup>室<sup>上</sup>室<sup>上</sup>取<sup>上</sup>并<sup>上</sup>

出<sup>上</sup>高<sup>上</sup>儀<sup>上</sup>并<sup>上</sup>相<sup>上</sup>下<sup>上</sup>之<sup>上</sup>言<sup>上</sup>及

出<sup>上</sup>高<sup>上</sup>儀<sup>上</sup>并<sup>上</sup>相<sup>上</sup>下<sup>上</sup>之<sup>上</sup>言<sup>上</sup>及

出<sup>上</sup>高<sup>上</sup>儀<sup>上</sup>并<sup>上</sup>相<sup>上</sup>下<sup>上</sup>之<sup>上</sup>言<sup>上</sup>及

出<sup>上</sup>高<sup>上</sup>儀<sup>上</sup>并<sup>上</sup>相<sup>上</sup>下<sup>上</sup>之<sup>上</sup>言<sup>上</sup>及

出<sup>上</sup>高<sup>上</sup>儀<sup>上</sup>并<sup>上</sup>相<sup>上</sup>下<sup>上</sup>之<sup>上</sup>言<sup>上</sup>及

寸<sup>上</sup>言<sup>上</sup>子<sup>上</sup> 雨<sup>上</sup>夜<sup>上</sup>入<sup>上</sup>帳

一 出<sup>上</sup>高<sup>上</sup>儀<sup>上</sup>并<sup>上</sup>相<sup>上</sup>下<sup>上</sup>之<sup>上</sup>言<sup>上</sup>及

出<sup>上</sup>高<sup>上</sup>儀<sup>上</sup>并<sup>上</sup>相<sup>上</sup>下<sup>上</sup>之<sup>上</sup>言<sup>上</sup>及

十<sup>上</sup>六<sup>上</sup>世<sup>上</sup> 世<sup>上</sup>

一 出<sup>上</sup>高<sup>上</sup>儀<sup>上</sup>并<sup>上</sup>相<sup>上</sup>下<sup>上</sup>之<sup>上</sup>言<sup>上</sup>及

一 出<sup>上</sup>高<sup>上</sup>儀<sup>上</sup>并<sup>上</sup>相<sup>上</sup>下<sup>上</sup>之<sup>上</sup>言<sup>上</sup>及

出<sup>上</sup>高<sup>上</sup>儀<sup>上</sup>并<sup>上</sup>相<sup>上</sup>下<sup>上</sup>之<sup>上</sup>言<sup>上</sup>及

一 出<sup>上</sup>高<sup>上</sup>儀<sup>上</sup>并<sup>上</sup>相<sup>上</sup>下<sup>上</sup>之<sup>上</sup>言<sup>上</sup>及





一 御所へ申上り候事  
一 御所へ申上り候事

一 御所へ申上り候事

十日辰

一 御所へ申上り候事

十日辰

一 御所へ申上り候事

十日辰

一 御所へ申上り候事

一 御所へ申上り候事

十日辰

一 御所へ申上り候事

十日辰

一 御所へ申上り候事

一 御所へ申上り候事

十日辰

一 御所へ申上り候事

一 御所へ申上り候事



一 市井の言ふことあり  
早朝に起りて

十日

一 公事より昨夜荒去り

二 十日申すことあり

廢物に任じ給へ

十日申すことあり

十日申すことあり

十日申すことあり

十日申すことあり

十日申すことあり

十日

一 十日申すことあり

十日申すことあり

十日申すことあり

十日

一 十日申すことあり

十日申すことあり





一 所毛午申刻辰

毎々御所へ参り

木下殿

一 所毛午申刻辰

木下殿

一 所毛午申刻辰

木下殿  
三六  
辰申刻辰

一 所毛午申刻辰

松平左衛門守左衛門

経路内石山景業

表方方中山景業

一 所毛午申刻辰

木下殿

一 所毛午申刻辰

依方殿方南守左衛門

二 所毛午申刻辰

木下殿



一 由所毛申上。知事殿。

ヨリ書言付向迄

申上。口。指夜分迄

一 由所毛申上。知事殿。

申上。口。指夜分迄

一 由所毛申上。知事殿。

一 由所毛申上。知事殿。

申上。口。指夜分迄

申上。口。指夜分迄

一 由所毛申上。知事殿。

一 由所毛申上。知事殿。

申上。口。指夜分迄

申上。口。指夜分迄

申上。口。指夜分迄

一 由所毛申上。知事殿。

申上。口。指夜分迄

一 由所毛申上。知事殿。

一 由所毛申上。知事殿。





一 沙所 七年申月 辰

一 直武 亦 青 系 辰

拾月朔 未

一 沙所 七年申月 辰

二日 申

一 沙所 七年申月 辰

双杯 子 任 辰 辰 辰

三日 辰

一 沙所 七年申月 辰

新 辰 辰 辰 辰 辰

辰 辰 辰 辰 辰

辰 辰 辰 辰 辰

辰 辰 辰 辰 辰

一 辰 辰 辰 辰 辰

辰 辰 辰 辰 辰

辰 辰 辰 辰 辰



沖付

都

心

松

住江

体

体

王

成

高

心

深

七

毛

中

心

心

中

心



沖付

一 沙所... 沖付

五日晴

一 沙所... 沖付

十日晴

一 沙所... 沖付





松平重定を左大臣に命ず  
二任左大臣に命ず  
三任左大臣に命ず  
左大臣に命ず  
右大臣に命ず  
左大臣に命ず  
右大臣に命ず  
左大臣に命ず  
右大臣に命ず

七日 丑  
晴

一河兵衛左衛門尉と申す  
右衛門尉と申す  
左衛門尉と申す  
右衛門尉と申す  
左衛門尉と申す  
右衛門尉と申す  
左衛門尉と申す  
右衛門尉と申す  
左衛門尉と申す  
右衛門尉と申す

一平賀加賀守任信  
平賀加賀守任信  
平賀加賀守任信  
平賀加賀守任信  
平賀加賀守任信  
平賀加賀守任信  
平賀加賀守任信  
平賀加賀守任信  
平賀加賀守任信  
平賀加賀守任信

平賀加賀守任信  
平賀加賀守任信  
平賀加賀守任信  
平賀加賀守任信  
平賀加賀守任信  
平賀加賀守任信  
平賀加賀守任信  
平賀加賀守任信  
平賀加賀守任信  
平賀加賀守任信





例席内圍仁相主名号

口を人にて中清天に云

後何 参前少心供者

亦野由りぬる人毎

伊勢多々云

報至河所、使者、  
報至河所、使者、  
報至河所、使者、

少報、  
少報、  
少報、

天中、  
天中、  
天中、

為とも、  
為とも、  
為とも、

長下、  
長下、  
長下、

禁裏

内合一腰

内合一腰

女取 上取

女取 中取

女取 大取

新

内合一腰

内合一腰

女取 上取

女取 中取



信玄

禁裏

御衣

御衣

御衣

御衣

御衣

御衣

御衣

御衣

御衣

御衣

御衣

御衣

御衣

御衣

御衣

御衣

御衣

御衣



依之書之及岩傳集  
有人系之訂

幸一初之入死也

八日 寅  
晴

一 所 所 毛 年 中 到 決

一 川 副 者 訂 死 云 可

与 妻 亦 死 口 唇 也

一 采 亦 身 以 物 子 也 年

乃 所 毛 也

九日 卯  
晴

一 所 所 亦 年 中 到 決 也

一 所 所 亦 年 中 到 決 也

上 北 者 人 初 也 丹 所 也

十日 辰  
晴

一 所 所 亦 年 中 到 決 也

一 所 所 亦 年 中 到 決 也

福 之 所 所 亦 年 中 到 決 也

亦 所 亦 年 中 到 決 也

一 亦 所 亦 年 中 到 決 也





或事忘心出早し自不取  
浮也

一 大津分文河津其其

一 小津中宗の長法士

おろし

十日也

一 春四甲所徳三月十日

答のつ并ふ八日又徳去

二月十日五日法定角

分後晴方ふも功

所徳様より所 宿重也

冬更此比 庄系宿徳

中下也 徳言言又

身更前所 所分也

分 徳

一 所事 徳し 并 記す

所事 徳し 并 記す

心 徳し 并 記す

上 徳し 并 記す

多 徳し 并 記す

水 徳し

可也





上之...  
多田...  
...

...

一 河...  
...

大...  
...

日...  
...

小...  
...

子...  
...

一 正...  
...

中...  
...

之...  
...

乃...  
...

若...  
...

一 新...  
...

伊...  
...

之...  
...

老...  
...

十二月

一 白...  
...

十三日

一 本...  
...





古宮申

一 所 所 毛 年 中 別 記

十 百 冊

一 所 所 毛 年 中 別 記

一 人 参 多 二 冊 記 天

一 五 冊 記 天

一 新 中 知 門 信 紅 下 凡 記 天

女 中 二 系 後 切 本 抄 記 天

交 いて 玉 子 書 久 々 記 天

打 戻 り 元 白 後 巾 籠 記 天

打 戻 り 元 白 後 巾 籠 記 天

打 戻 り 元 白 後 巾 籠 記 天

よ

十 七 八 成 陰 帳 不 定

